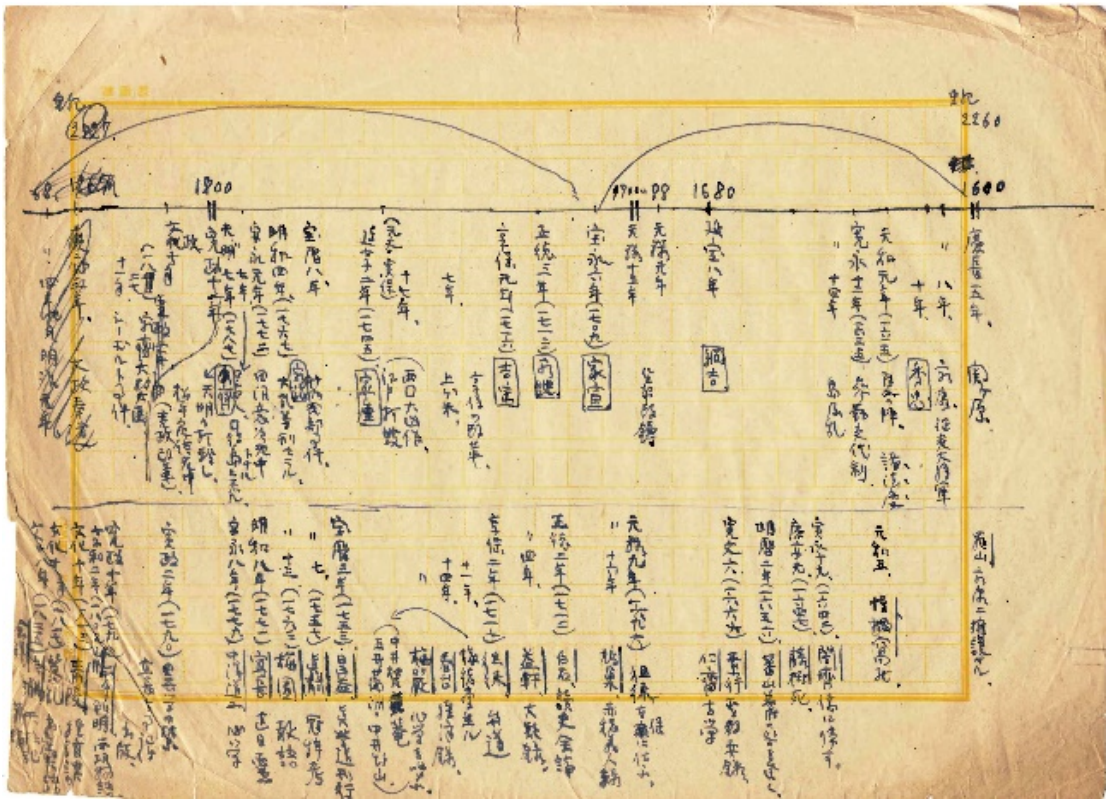
（5）講義

丸山が「東洋政治思想史」の講義を担当するのは 1943(昭和 18)年度からとされていたが、実際には 1942(昭和 17)年 10 月にはじまった。戦時下の特別措置として卒業が繰り上げられ、学期が短縮されたので、1943 年度は通常より半年早い開始となったのである。

丸山のそれまでの研究は問題史の構成をとっていたが、講義は江戸時代の主要な思想家を通史的に順番で取り上げるという内容で行ったため、多くの部分を新たに勉強しながら講義するという自転車操業となった。特に前半の学期は講義が週 2 回あり、徹夜の連続だったという。丸山にとっては意にみたない出来であったが、講義のために幅広く勉強したことは、丸山の研究に新たな展開をもたらす源泉となった。（画像：1943 年度「東洋政治思想史」講義の「別表」〈丸山文庫資料番号 347〉）